

二年学年だより

No. 12

3月号

令和6年3月発行

2年学年主任

令和5年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の下での学校生活から、以前の学校生活の戻る一年でした。学校行事も元の形に戻り、私たち教師側からするとこうだったなと思うことも、君たちにとっては初めての経験ばかりだったかもしれません。卒業式も以前と同様、全校生徒が体育館で参加する形となり、厳かな雰囲気の中、先輩方は立派に中央高校を巣立っていかれました。これからは君たちが最高学年になります。2年生もあとわずか。4月からはよいよ3年生です。

先日行われた世界卓球団体戦女子決勝で日本は絶対王者中国と対戦し、2-3で惜しくも敗戦。銀メダルという結果となりました。スポーツ観戦が好きな私は、同時刻に行われた女子サッカーオリンピック最終予選、日本対北朝鮮も気になっていて、テレビのチャンネルを行ったり来たりという時間を過ごしました。

日本はこれまでエースであった伊藤美誠選手がリザーブに回り、何度も中国選手を苦しめていた伊藤選手抜きでどのような試合展開になるのかと思っていましたが、出場した3選手が全力を尽くして戦う姿は素晴らしく、少しずつこちらのチャンネルの時間が長くなっていきました。特に印象に残ったのは「チームの力」。タイムアウトのときに、積極的にコーチングを行う伊藤選手の姿。その話を聞き入れ、それにトライし、チームの勝利を信じて得点を重ねる3選手の姿は感動的でした。これまでの経験があるからこそ的確なアドバイスは素人目からもそのパワーを感じました。試合後、勝利できたことへの安堵から涙を流す中国選手と、5試合目を終えた張本選手を囲んで健闘を笑顔で称える日本選手。その姿は、日本チームが全力で戦ったことの証明であるのと同時に、今後、更に大きくなっていく可能性を感じることができたのは私だけではないのではないかと思います。オリンピックでの対戦も楽しみです。

3年生の目標といえば、そのひとつは進路実現。自分の望む進路実現を可能にするには、学力の向上は大きな要因の一つとなります。君たちが中央高校を卒業し、新たな世界へ旅立つ前に、また旅立つために、残された高校生活で君たちに望むことについてお話をさせていただきます。

まずは、学校での時間を大切にすること。時間を守り、欠席を極力減らし、自分のためになるたくさんの話にしっかりと自分の耳を傾けてください。そうすることが、自分自身を安定させ、すべてのことがうまく動き始める大きな第一歩となることは間違いありません。

次に、君たちは1年後には、大人扱いをされるようになるのだという自覚を持つこと。自分の言動に責任を持つこと。先を見通した生活を送ること。社会での常識を理解し行動すること。周りへの気配りができるようになること。その他にも大人に求められるものはたくさんあります。それらの意味を理解し、社会から求められる大人になる準備ができる1年にしてください。そのことが君たちの残された高校生活の、また君たちの目標達成の手助けになることは明らかです。

最後に、前向きな気持ちを持って挑戦を続け、一人で頑張ると同時にみんなで頑張ること。最後は一人で勝負しなくてはいけない瞬間がくる。そのときのため、一人で頑張るパワーをつけること。しかし、一人で頑張るには限界もある。それを超えるには、みんなで頑張ることが必要です。自分は一人ではないのだ。みんながついていてくれる。このことを信じられれば、挑戦の幅を広げることは難しいことはありません。

卓球女子日本代表は試合に出ることのないリザーブ選手を含めた全員の活躍でチームが全力で戦うことができ、たくさんの可能性に近づくことができました。君たちの周りにも、このリザーブ選手に負けないうらい君たちを支えてくれている人はたくさんいますし、君たち自身がその存在になることも可能です。周りの支えとなり、周りの人々の力となり、周りの支えに気づき、素直な気持ちでそれを受け入れ、感謝の気持ちをしっかりと表すこと。それができる君たちになってほしいと願います。